歯周病を予防して全身の健康を守りましょう

歯周病ってどんな病気？

歯周病は、日本人が歯を失う原因の第１位です。早期発見、早期治療が重要です。
この機会にぜひ、かかりつけ歯科医を持って、定期的に歯科健診を受けましょう。

歯周病は全身に影響を及ぼします

歯周病菌や炎症物質は、歯ぐきの炎症部分の毛細血管から血液中に入り込み、血液に乗って全身に運ばれます。たどり着いた先で病気を発症し、悪化させることがあります。

●動脈硬化

歯周病菌が血管の壁に付くと動脈硬化が進み、その結果、血管が狭くなる、詰まる、破れるといった状態になりやすく、脳卒中、狭心症、心筋梗塞につながります。

●狭心症など

歯周病菌が動脈硬化を悪化させることにより、狭心症や心筋梗塞の原因となります。

●糖尿病

歯周病によってインスリンが働きにくくなり、糖尿病が悪化します。また、糖尿病が悪化すると歯周病にかかりやすくなります。

●認知症

咬む力が衰えると脳への血流量が減少し、アルツハイマー型認知症の発症や進行のおそれがあります。

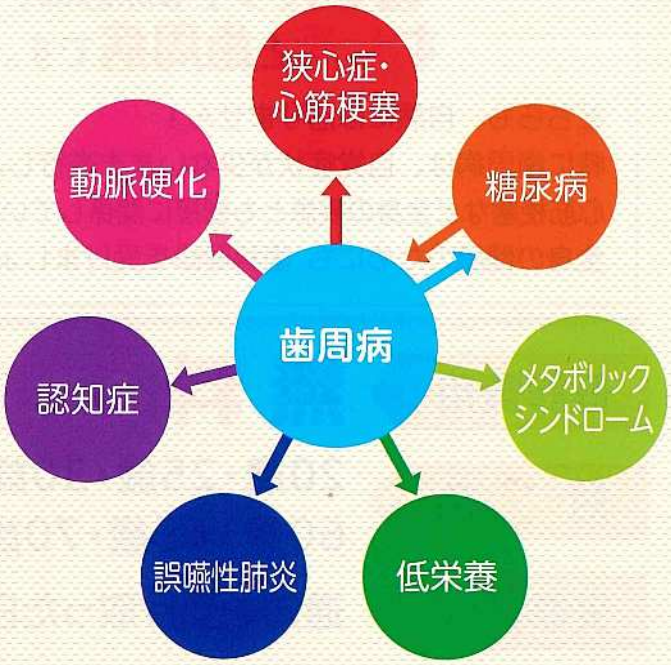
●誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）

歯周病菌などの細菌が、だ液や食べものとともに気管に入ること（誤嚥（ごえん））によって、肺炎が起こります。

●メタボリックシンドローム・低栄養

歯周病が悪化してよく噛めずに早食いになることで、食べ過ぎ・肥満につながります。反対に、食べる量が減ったり、やわらかい物に偏ることで栄養状態が低下し、健康が損なわれる可能性があります。

歯周病が関係する全身の病気



歯周病予防はプロフェッショナルケアとセルフケア

かかりつけ歯科で受ける「プロフェッショナルケア」と、自身で行う「セルフケア」で口の中の環境を良くし、歯周病菌を減らしましょう。

- ●歯垢・歯石を取ってもらいましょう
- ●自身に合った歯みがきをかかりつけ歯科医に相談しましょう
- ●1日1回は丁寧に歯をみがきましょう

歯と口の健康を維持することは健康寿命を延ばすことにつながります。